

# はじめに

わが国の政府開発援助（ODA）は、1954年の開始以来、2004年10月で50周年を迎えました。この間、わが国は185カ国・地域に対しおよそ2,210億ドルのODAを供与し、途上国の開発と福祉の向上のために多大な努力を行ってきています。そして、今後わが国は、これまでの成果と歩みを踏まえ、2003年8月に閣議決定された新ODA大綱に掲げられた理念、重点課題に従って、より効果的、効率的に、また透明性の高いかたちでODAを実施していく考えです。

ODA評価はそれに向けた重要な取り組みです。50年にわたるわが国ODAの歴史の中で、外務省によるODA評価も着実に実績を重ねています。わが国のODAが量的に飛躍的な拡大を見せた1970年代後半から1990年頃、あるいは、近年外務省／ODA改革が議論された際などには、ODA評価を充実させる必要性が叫ばれてきました。外務省は、これらの声に応え、関係する有識者等のご意見等も踏まえつつ、ODA評価の質を高めるべく日々努力しています。

本報告書の公表は、1982年以来22回目のものであり、今回は、2003年度に実施した外務省、その他関係府省、および実施機関（JICA、JBIC）によるODA評価の概要を紹介しています。また、本報告書では、わが国のODAが50周年を迎えたこの機会に、これまでに外務省が行ってきたODA評価の歩みを振り返り、ODAを巡る国内外の動向を背景として評価の目的や対象が変遷してきたことについても紹介を行っています。なお、この報告書の内容は、速やかに外務省ODAホームページ（URL：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/ODA/index.html>）にも掲載する予定です。（2003年度に実施された外務省による個々の評価の報告書全文は、外務省ODAホームページに掲載しています。）

外務省では、この報告書を公表することにより国民の皆様にはわが国のODA及びODA評価に対する理解を深めていただくことを期待しています。今後とも、ODA評価の充実を図り、ODA実施の更なる改善に向けて不断の努力を重ねていく考えですので、ODA評価に関するご質問・ご意見等がありましたら、是非お聞かせ下さい。（外務省経済協力局開発計画課評価班 e-mail: [hyoka-iken@mofa.go.jp](mailto:hyoka-iken@mofa.go.jp)）

2005年1月

外務省経済協力局長 佐藤 重和